

8. 競技情報

8.1 地図

- 地図はミドル・リレー共に縮尺 1:10,000、等高線間隔 5m、走行可能度 4 段階表示で描かれている。地図表記は ISOM2000 に準拠している。
- 上記規定の中には地図ごとに定義を定め、これを凡例に示すことで使用が認められている特徴物がある。この規定に従って以下のように記号を定める。
 - 緑の : 独立樹
 - 黒の : 炭焼窯跡
 - 黒の× : ほこら・石碑・その他人工特徴物
- 表記に関してはモデルイベント地図の凡例を参照のこと。ミドル・リレーに使用する地図は凡例を省略している。
- 本大会で使用する地図は全てビニール袋に封入されている。

8.2 テレインの概要

テレインは、99 年度インカレクラシックの『日光霧降』で使われた範囲を中心とした地域である。標高約 400~500m に位置し、比較的なだらかな尾根と侵食された深い沢や急峻な斜面で構成されている。植生は手入れされた針葉樹林が広範囲を占めており、見通しや走行可能度は非常に良好である。また、全域にわたって道や小道、小径が発達しており、走行の障害となるような岩石地等も見られない。

8.3 テレインに関する情報

- 積雪が残っている可能性がある。各自で対策を立てること。
- 猿等の野生動物が出没することがある。注意すること。
- 凍結している可能性がある。注意すること。

8.4 コースに関する情報

8.4.1 コース設定者

高橋ひろみ（慶應義塾大学 02 年卒）、増田佑輔（筑波大学 02 年卒）

8.4.2 コース距離・登距離

コース距離（単位 km）・登距離（単位 m）は以下の表のとおりである。ただし、変更される場合がある。その場合は、公式掲示板にて掲示する。

<ミドル・ディスタンス競技部門>

コース	距離	登距離
MEQA	2.8	135
MEQB	2.6	140
MEQC	2.8	130
MEQD	2.8	125
WEQA	2.2	100
WEQB	2.1	95
MEFA	3.0	170
WEFA	2.5	140
MEFB1	2.6	130
MEFB2	2.6	125
MEFB3	2.7	130
MEFB4	2.7	130
WEFB1	1.8	80
WEFB2	1.8	80

コース	距離	登距離
MUA1	4.0	255
MUA2	4.3	245
WUA	3.2	180
MUB	2.1	70
WUB	2.1	70
MUF1	2.6	135
MUF2	2.6	140
WUF	2.2	105

<リレー競技部門>

コース	距離	登距離
ME	5.3-5.5	290-300
WE	3.6-3.7	190-200
MUR	3.4	
WUR	2.9	
XUR	2.9	
MUS	3.4	
WUS	2.9	

8.5 e cardについて

8.5.1 電子パンチングシステムの概要

- 本大会ではEMIT社製のEPT (Electronic Punching and Timing system) を使用する。
- 電子パンチングシステムではe card とスタートユニットと、コントロールユニットを用いる。
- e card をアクティベートし、正常に動作している場合にはスタートユニットに付いているランプが赤く点滅する。
- コントロールユニットは固有の番号をもっており、アクティベートした e card をはめ込むことにより、この固有の番号を e card が読み取り、e card に記録される。
- これらの記録されたデータをフィニッシュ後に読み取り、失格判定を行う。
- e card は機械であるため途中で故障する可能性がある。故障しても失格判定を行えるように、e card にはバックアップラベルが付いている。
- バックアップラベルはコントロールユニットにきちんとはめ込んだ場合に、従来のコントロールカードと同様に穴が空くような構造となっている(ただし、穴は1点、位置によってどのコントロールが判別する)。

8.5.2 e card 使用上の注意点

- e card の加工、書き込みなどは認めない。このためコントロール位置説明表を携帯する場合は、ビニール袋、コントロールカードケース等を利用してよい。
- アクティベートを行っていない場合、一切の電子的記印が記録されないため、スタートユニットでは各人でランプが「2回」点滅することを確認すること。ランプが点滅しない場合には役員に届け出る事。
- e card が適切に動作していなかった場合はバックアップラベルでコントロールの通過を確認するのでバックアップラベルも紛失しないように十分注意すること。
- e card の紛失・忘失は失格となることがある。
- e card の電子的記録によって正しくコントロールを回っていることが証明される限りにおいて、バックアップラベルを紛失しても失格とはしない。
- バックアップラベルにも記印を行うため、e card をコントロールユニットにきちんとはめ込むこと。
- スタートユニットにはめ込むと、以前の記録は消去されるため、競技開始後は決してスタートユニットに近づけないこと。

8.5.3 コントロールで間違った記印をした場合の対処法

- 同じ番号のコントロールで続けて2回以上パンチした場合は最初のパンチのみが記録される。パンチに不安がある場合は2回以上パンチしても問題は無い。
- 途中で間違ったコントロールのパンチが記録されていても正しい順番で回ったことが確認できれば完走と認める。従って、間違ったコントロールでパンチした場合でもそのまま正しいコントロールに行ってパンチすればよい。

【例1】 7 8 9 と行くべきところ、8 を飛ばして9 をパンチした場合
そのまま8に戻ってパンチをし、再び9をパンチする(7 9 8 9)。

【例2】 7の次に8に行くべきところを他のクラスのコントロールXでパンチした場合
そのまま8に行ってパンチする(7 X 8)

8.5.4 その他注意事項

- 競技運営の都合上、主管者から貸し出す e card 以外の使用は認めない。但し、モデルイベント中のみ個人所有の e card の使用を認める。
- 主管者が貸し出す e card には氏名が記入されたラベルが貼り付けられており、選手 1 人につき 1 枚ずつ貸し出される。
- ミドル・リレー両日とも同一の e card を使用する。e card を紛失もしくは破損した場合、弁償金(3,000 円程度)を徴収する。競技中の事故で破損した場合にはその限りではない。

8.6 ナンバーカード

- ナンバーカードは開会式当日の大会受付で配布する。選手権 A-Final のナンバーカードは予選終了後、選手権 A-Final 出場者に受付にて配布する。
- ナンバーカード 1 枚につき安全ピンを 4 個使用すること。
- ナンバーカードは胸の見やすい位置に水平に付けること。
- 選手権 A-Final とリレー選手権の部では選手 1 人に付き 2 枚使用するので、胸と背中の見やすい位置に水平に付けること。

8.7 公式掲示板

- 開会式会場及び本部テントの横に公式掲示板を設置する。
- 変更点、連絡など参加者に伝えるべき公式な情報はすべてこの掲示板を通して知らせる。必ず確認すること。

8.8 救護所

- ミドル・リレー共に、フィニッシュ付近に救護所を設ける。それ以外にテレイン内に救護所を設け、最低限の応急手当を受けることができる。各自で手当をした場合は支障がなければ競技を続けることができる。
- 競技中に怪我人を発見した場合は、救護所またはフィニッシュの役員に連絡すること。

8.9 調査依頼・提訴

8.9.1 調査依頼

- 各校は、競技者あるいは主管者の、ミドル・リレーともに選手権の部または、大会全体に関するインカレ実施規則に対する違反についての調査依頼を行うことができる。
- ミドル・リレー共に、受付にて調査依頼を受け付ける。
- 調査依頼用紙は受付に用意する。文書にて行うこと。
- 回答は、公式掲示板に掲示する。
- 成績速報に関する調査依頼は、フィニッシュ閉鎖後 60 分以内に行うこと。
- 調査依頼には主管者が回答する。調査依頼の回答に疑義がある場合のみ、提訴を受け付ける。

8.9.2 提訴

- 調査依頼に対する回答に疑義がある場合は提訴を行うことができる。提訴は裁定委員会に対して文書で行う。
- 提訴に対する裁定委員会の判断は最終的なものである。関係者に通知されるほか、大会報告書にて報告される。

8.10 テープ誘導色一覧

ミドル	
予選・一般の部・B-Final 会場 青白色 荷物預かり所 青白色 スタート 赤白色 スタートフラッグ 最終コントロール 赤白色 フィニッシュ 緑色 荷物預かり所 青白色 会場	A-Final スタート待機所 青白色 スタート 赤白色 スタートフラッグ 最終コントロール 赤白色 フィニッシュ

リレー	
選手権 スタート 赤白色 地図置き場 赤白色 スタートフラッグ 最終コントロール 赤白色 フィニッシュ	一般の部・スプリント スタート 赤白色 地図置き場 赤白色 スタートフラッグ 最終コントロール 青白色 フィニッシュ

立ち入り禁止：青黄色

トレイル-O：黄色

インカレ報告書の広告募集！

報告書に、あなたのクラブや大会などの広告を載せてみませんか？どしどしお申し込みください。

	1コマ(1/8ページ)	2コマ(1/4ページ)	4コマ(1/2ページ)	8コマ(1ページ)
営利団体	4,000円	7,000円	10,000円	20,000円
非営利団体	2,000円	3,500円	5,000円	10,000円

裏表紙、表紙見返し、裏表紙見返しを希望される方は、問い合わせ先までご相談ください。

1ページ=B5

- ・原稿送付先：〒195-0057 東京都町田市真光寺 1-6-10 山根 洋之
- ・問い合わせ：E-mail(推奨) yamaneh@m3.ocv.ne.jp
 携帯電話 090-2499-3073
- ・振込先：口座番号：00250-0-112826
 加入者名：中谷 彰吾

(お振込の上、原稿とともに「振込日」、「振込人名」、「振込額」を明記(フリーフォーマット)した別紙を同封して送付先にお送りください)

- ・原稿締め切り：2005年3月31日必着